

## 特別展 将軍と尾張徳川家一政と儀礼

2023年11月11日(土)～12月15日(金)

主催：徳川美術館・徳川林政史研究所・中日新聞社・日本経済新聞社

徳川美術館の姉妹機関である徳川林政史研究所(東京都豊島区目白)では木曾山を中心とした「林政史」研究だけでなく、江戸時代の「幕政史」や尾張「藩政史」も主要テーマとして研究を進めてきました。本展では、その成果の一端を、研究所所蔵文書や徳川将軍家伝来文書を中心に紹介します。

将軍家と尾張徳川家との関係性に着目しながら、絵図や文書などの歴史史料に基づいて、江戸城や名古屋城における将軍・藩主の公務の実態を、イラスト等を用いてわかりやすく展示します。

- ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- ・指定欄の「◎」は重要文化財、「□」は愛知県指定文化財です。
- ・所蔵欄の「蓬左」は名古屋市蓬左文庫、「林政」は徳川林政史研究所、「個人」は個人蔵、空欄は全て徳川美術館所蔵です。

No.	指定	作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵
<b>第1章 家康と義直</b>					
1		徳川家康画像		江戸 18-19	名古屋市博物館
2		徳川家康書状 北条左京大夫(氏政)宛		桃山 天正11年(1583)	林政
3	□	築城図屏風 六曲一隻		桃山-江戸 17	名古屋市博物館
4		御年譜 五冊 徳川義直(尾張家初代)編		江戸 17	林政
5		御系図 徳川義直(尾張家初代)編		江戸 17	林政
6		徳川義直遺訓 徳川光友宛 二巻のうち 徳川義直(尾張家初代)筆		江戸 慶安3年(1650)	
7		起請文前書草稿 酒井讃岐守(忠勝)宛 五通のうち 徳川光友(尾張家二代)筆		江戸 慶安3年(1650)	
<b>第2章 徳川将軍の仕事</b>					
<b>第1節 将軍、大名に命じる</b>					
8		東武御本丸絵図		江戸 18	林政
9		武家諸法度		江戸 安政6年(1859)	林政
10		御代替御法令仰出節御意之振		江戸 安政6年(1859)	個人
11		在府万石以上之面々御判物御朱印頂戴之節御意之振		江戸 万延元年(1860)	個人
<b>第2節 将軍、大名と会う</b>					
12		登城行列図		江戸 19	
13		江戸城御殿之図		江戸 18-19	蓬左
14		千代田之御表 正月元日諸侯登城御玄関前之図 一帖 三十一組のうち一組 楊洲周延画		明治30年(1897)	
15		武家格例式		江戸 天保6年(1835)	個人
16		三家部屋着座之図 徳川慶勝(尾張家14代)筆		江戸 19	林政
17		年中御登城之節之御式御席図		江戸 寛政7年(1795)	蓬左
<b>〈パネル展示〉トピック1 将軍の生活</b>					
		イラスト 起床 中西立太制作			
		イラスト 食事 中西立太制作			
		イラスト 政務 中西立太制作			

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵
<b>第3節 将軍、アメリカと出会う</b>				
18	米利幹船神奈川入津之図		江戸 19	
19	阿蘭陀機密風説書 徳川慶勝(尾張家14代)筆		江戸 嘉永5年(1852)	林政
20	米国使節御目見次第覚		江戸 安政4年(1857)	個人
21	米国使節登城ニ付上意振伺書別紙		江戸 安政4年(1857)	個人
22	米国公使ハリス口上振		江戸 文久2年(1862)	個人
23	米国公使ハリスへの将軍上意振		江戸 文久2年(1862)	個人
<b>第4節 将軍、情報を収集する</b>				
24	書拔(享保六丑年評定所前箱江書付人候儀高札下書等ニ付)		江戸 享保6年(1721)	個人
25	訴状箱鍵 三個		江戸 18-19	個人
26	訴状留 二冊		江戸 安政5年(1858)	個人
27	上書(町方一同騒立候儀ニ付町奉行取扱方等風聞書)		江戸 天明7年(1787)	個人
28	起証文前書(御隠密御用被仰付候ニ付) 川村富太郎ほか筆		江戸 文久2年(1862)	個人
29	書付(両御番格古坂政次郎等五畿内・中国・四国・西国辺御用差遣候ニ付書付) 加納遠江守(久周)ほか筆		江戸 天明7年(1787)	個人
30	上書(東海道筋・中仙道筋風聞書)		江戸 寛政8年(1796)	個人
31	御土器	古坂家旧蔵	江戸 天保15年(1844)	林政
32	すかたみ(古坂与吉肖像写真)	古坂家旧蔵	江戸 慶応元年(1865)	林政
33	拝領御勝土器	徳川家茂(14代将軍)下賜・古坂与吉(達義)拝領 古坂家旧蔵	江戸 慶応2年(1866)	林政
<b>トピック2 将軍のことば</b>				
34	参勤御目見之節御意之振		江戸 嘉永5年(1852)	個人
35	政事変革之節上意之節御意之振		江戸 文久2年(1862)	個人
36	参勤交代相改之儀ニ付御意之振		江戸 文久2年(1862)	個人
<b>第3章 将軍と尾張家当主の贈答</b>				
<b>第1節 当主、季節の名産品を贈る</b>				
37	礼物軌式 五冊のうち四冊		江戸 文化13年(1816)	林政
<b>第2節 将軍、人生の節目に刀を贈る</b>				
38	小脇指 銘 来国次	徳川家綱(4代将軍)下賜・徳川綱誠(尾張家3代)拝領	南北朝 14	
39	小脇指 銘 正広 蠟色塗合口拵	徳川家斉(11代将軍)下賜・徳川斉温(尾張家11代)拝領	室町 16	
40	太刀 銘 包永	徳川家斉(11代将軍)下賜・徳川斉朝(尾張家10代)拝領	江戸 19	
41	小脇指 朱銘 延寿 本阿(花押)	徳川家斉(11代将軍)下賜・徳川斉朝(尾張家10代)拝領	鎌倉 14	
42	◎ 刀 無銘 正宗	徳川家継(7代将軍)下賜・徳川継友(尾張家6代)拝領	南北朝 14	
43	◎ 太刀 銘 来国光	徳川家光(3代将軍)下賜・徳川義直(尾張家初代)拝領	鎌倉 14	
44	太刀 銘 正家	徳川家斉(11代将軍)下賜・徳川斉朝(尾張家10代)拝領	鎌倉 14	
45	小脇指 無銘 青江貞次	徳川吉宗(8代将軍)遺物・徳川宗睦(尾張家9代)拝領	鎌倉 13	
46	中将様御道具 御腰物御脇指帳 元帳		江戸 17-18	
47	萌黄地透精好直垂	伝徳川家茂(14代将軍)下賜・徳川慶勝(尾張家14代)拝領	江戸 19	
48	茶地葵紋付袴	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸 19	
49	紺地葵紋付熨斗目	平戸松浦家伝来 株式会社大丸松坂屋百貨店寄贈(松坂屋コレクション)	江戸 19	

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵
<b>第4章 尾張家当主の仕事</b>				
<b>第1節 当主、領地を巡見する</b>				
50	名古屋絵図		江戸 18	林政
	尾張名所図会 前編 巻一 七冊のうち 岡田啓・野口道直編 小田切春江ほか画		江戸 天保15年(1844)	林政
51	尾張名所図会 前編 巻一 七冊のうち 岡田啓・野口道直編 小田切春江ほか画 大脇家寄贈		江戸 天保15年(1844)	
52	御巡覧留 続篇二(「国秘録」六十三冊のうち) 奥村得義筆		江戸 19	林政
53	尾州・濃州絵図		江戸 17	林政
54	徳川齊荘自詠歌集「岐阜の道しるべ」 徳川齊荘(尾張家12代)筆		江戸 天保14年(1843)	
55	徳川齊荘自詠歌集「知多の枝折」 徳川齊荘(尾張家12代)筆		江戸 天保14年(1843)	
56	葵紋付格子縞小袖	徳川義直(尾張家初代)着用	江戸 17	個人
<b>第2節 当主、家臣と会う</b>				
57	進饌要覧 巻十一 十八冊のうち 清原(舎人)重巨・大野安興著		江戸 天保9年(1838)	林政
58	名古屋城謡初之図		江戸 19	林政
59	進饌要覧 附録 貞 十八冊のうち 清原(舎人)重巨・大野安興著		江戸 天保9年(1838)	林政
60	(市谷屋敷)諸図 二 四冊のうち		江戸 19	林政
61	(市谷屋敷)諸図 一 四冊のうち		江戸 19	林政
62	御殿中惣図		江戸 19	林政
<b>第3節 当主、家臣を率いる</b>				
63	徳川義利知行目録 遠山小兵衛(光政)宛		江戸 元和6年(1620)	個人
64	南蛮胴具足	渡邊守綱着用	桃山 16	個人
65	陣備図 大御先鋒日之丸御備 十帖のうち		江戸 18-19	林政
66	御家中惣御人数積		江戸 18-19	林政
67	御旗御馬印之図		江戸 18-19	林政
<b>第5章 将軍と尾張家当主の幕末・明治</b>				
68	油彩徳川慶勝肖像 渡邊貞世筆		明治16年(1883)	
69	履歴概略 遠山景風筆		明治 19	個人
70	勤王誘引書類 七百四十九通のうち		江戸 慶応4年(1868)	林政
71	官軍袖駿(尾張藩兵袖印)		江戸 慶応4年(1868)	名古屋市博物館
72	慶応四戊辰五月十日八時半時ヨリ同十九日迄戦争図 十一鋪のうち		江戸 慶応4年(1868)	林政
73	勝海舟肖像写真		江戸 19	名古屋市博物館
74	江城請取顛末 水野忠雄筆		明治6年(1873)	林政
75	明治元年雑記録 一 四冊のうち 水野忠雄筆		江戸-明治 19	蓬左
	幕末・明治名古屋城写真(ガラス原板および写真帳) 一式のうち			
	徳川慶勝肖像		江戸 慶応2年(1866)	
	名古屋城本丸東南隅櫓・天守		明治4年(1871)以前	
	名古屋城天守		江戸-明治 19	
76	名古屋城天守		明治4年(1871)以前	林政
	名古屋城天守・本丸馬出多聞櫓		明治4年(1871)以前	
	名古屋城天守・二の丸御殿		明治4年(1871)以前	
	若宮祭礼山車行列		江戸-明治 19	
	名古屋城金鯨		明治4年(1871)	
				以上